

PsySEPTA インテンシブコース

PsySEPTA Psychiatric Staff Education Program for Transdisciplinary Approach

対象者

医師、歯科医師、看護師、助産師、保健師、薬剤師、栄養士、心理職※1、理学療法士、作業療法士、精神科ソーシャルワーカー※2、精神保健福祉士、介護支援専門員※3

- ※1 精神障害者を対象とする業務に3年以上従事したことが証明できるもの
- ※2 精神保健福祉士、社会福祉士、相談支援専門員として、精神障害者を対象とした相談援助業務に3年以上従事したことが証明できる者
- ※3 介護支援専門員として、精神障害者を対象とした相談援助業務に3年以上従事したことが証明できる者

履修期間・費用

履修期間 : 1年

費用 : 無料

※別途、保険料がかかります。(年間数千円程度)

履修方法

ホームページから申請いただけます。

ホームページアドレス：
筑波大学附属病院 精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成(精神連携GP)
<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/PsySEPTA/>



お問い合わせ先



精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成

筑波大学附属病院 PsySEPTAオフィス
〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
TEL : 029-853-8069 ● E-mail : seishin.renkeigp@md.tsukuba.ac.jp

◆PsySEPTAとは?
[Psychiatric Staff Education Program for Transdisciplinary Approach; 精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成]の略で、「サイセプタ」と読みます。

患者さんの抱える問題を解決したい、という願いはどの職種にも共通です。それをひとりで抱えますか? 皆で挑みますか? 仲間を知り、正しく協力すれば、単にメンバー各々の力を足したとき以上の力を出すことができます。

〈対象者〉
医師・歯科医師・看護師・薬剤師・栄養士・心理職・精神科ソーシャルワーカー・理学療法士・作業療法士ほか

サイセプタ
Psy SEPTA
Psychiatric Staff Education Program for Transdisciplinary Approach

PsySEPTA Psychiatric Staff Education Program for Transdisciplinary Approach

精神科多職種連携について 共に学ぼう!!

PsySEPTA インテンシブコース
▶ 認知症コース ▶ 周産期メンタルヘルスコース

令和元年 10月スタート



精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成

平成30年度 文部科学省
課題解決型高度医療人材養成プログラム「精神関連領域」採択事業



筑波大学
University of Tsukuba

PsySEPTA インテンシブコース

PsySEPTA Psychiatric Staff Education Program for Transdisciplinary Approach

共通必修科目 1

eラーニング 精神科多職種連携総論



共通必修科目 2

実習 コミュニケーションスキルを学ぶグループワーク



筑波大学 Ver.
認知症各論 1 科目

or

慈恵会医科大学 Ver.
認知症各論 1 科目

認知症コース



周産期メンタルヘルス
各論 1 科目

周産期メンタルヘルスコース

プログラムの概要

我が国では、社会生活のグローバル化や高齢化などの変化が引き金となり、認知症、依存症、統合失調症、うつ病といった多様な精神疾患・障害とともに生活する人々が増加しています。これらに対し有効な治療・ケアを行うためには、多職種・多機関が有機的に連携し、個々のニーズに合わせた包括的支援を行う必要がありますが、そのための多職種連携システムの整備は不十分です。

本プログラムは、医師、歯科医師、看護師、心理職、理学療法士、作業療法士、栄養士、精神科ソーシャルワーカー等の多種多様な講師陣を招き、現場に活かせる知識を体系的に学ぶことと、多職種連携に必須であるコミュニケーションスキルに重点を置いています。

- ・短時間のeラーニングで、いつでもどこでも視聴可能！
- ・ドラマ形式の映像教材で、具体的にイメージしやすい！
- ・演習や実習を経ることで、明日からの仕事に活かせる！
- ・働きながら受講可能！！

共通必修科目 1

精神科多職種連携総論 ーお互いを知り、サポートしよう！ー

eラーニング

項目 1	精神医学のあゆみ
項目 2	精神看護学のおゆみ・薬剤師のおゆみ
項目 3	作業療法のおゆみ・理学療法のおゆみ
項目 4	心理学のおゆみと心理アセスメント
項目 5	精神科ソーシャルワーカーのおゆみと精神保健医療福祉法に関する法制度
項目 6	精神科多職種連携の在り方
項目 7	精神科における治療
項目 8	精神科多職種連携に関わる各職種の紹介
項目 9	映像教材：多職種の役割の実際(仮)①
項目 10	映像教材：多職種の役割の実際(仮)②

共通必修科目 2

コミュニケーションスキルを学ぶグループワーク

実習

2020年2月22日(土)～2月24日(祝)開催予定

多職種連携に必須となるコミュニケーションスキルの基礎を、次の3点を柱として知識と体験の両面で学びます。

- ① 他職種のものの見方、考え方、行動の仕方を理解でき、相手の立場に立った発言や行動ができる想像力
- ② 自職種のものの見方、考え方、行動の仕方を他職種にわかるような言葉で伝えられる自己観察力と表現力
- ③ 意見や立場の多様性を、その底にある願いや思いのレベルまで聞いて統合し、全体として効果的にチームとして行動できる方向性をメンバーとともに探求できるファシリテーションスキル

認知症コース

いずれかの Ver. の各論 1 科目

筑波大学 Ver.

eラーニング + 演習・実習

慈恵会医科大学 Ver.

eラーニング

項目 1	認知症とは	項目 1	多職種連携が共有すべき認知症疾患の基礎知識(認知症総論)
項目 2	認知症における各職種の役割(初期)	項目 2	アルツハイマー型認知症の治療とケアにおける多職種連携
項目 3	認知症における各職種の役割(進行期)	項目 3	レビー小体型認知症の治療とケアにおける多職種連携
項目 4	認知症における多職種連携の実際	項目 4	前頭葉側頭葉変性症の治療とケアにおける多職種連携
項目 5	映像教材：娘を待ちながら(認知症)	項目 5	認知症疾患の告知の受容を支える多職種連携
項目 6	認知症事例検討(1.25時間)※	項目 6	多職種が共有すべき認知症高齢者の薬物療法の基礎知識
項目 7	臨地実習(6時間)※	項目 7	多職種が共有すべき認知症高齢者における抗精神病薬使用の知識
		項目 8	認知症患者の不安や抑うつ、身体的愁訴への多職種による支援
		項目 9	認知症患者の在宅生活を支える多職種連携

周産期メンタルヘルスコース

各論 1 科目

eラーニング + 演習・実習

項目 1	周産期メンタルヘルスとは
項目 2	周産期メンタルヘルスにおける各職種の役割(妊娠期)
項目 3	周産期メンタルヘルスにおける各職種の役割(産褥期)
項目 4	周産期メンタルヘルスにおける多職種連携の実際
項目 5	映像教材：赤ちゃんを皆で(周産期メンタルヘルス)
項目 6	演習(1.25時間)※
項目 7	臨地実習(6時間)※

※演習・臨地実習は、ご希望に応じて日程や実習先を選ぶことができます。